

NIE 教育に新聞を

新聞 読んだ考えた

八戸学院光星高2年

ほりかわ まりん
堀川 真凛さん



2022年12月14日付13面「風呂敷1枚 何で
も包む」 近年の環境意識の高まりを受け、風呂
敷が再び注目されている。東京と京都にある風呂
敷専門店「むす美」の広報、山田悦子さんに便利
な使い方を尋ねた。

私は、1枚の四角い布「風呂敷」が、贈り物やレジャーなどで幅広く活躍していることを知らなかった。記事によると、風呂敷の主な用途には「持つ、運ぶ」「包む」「贈る」「守る」があるという。「持つ、運ぶ」については、エコバッグ代わりに使えて便利だと、テレビや本で見たことがあった。しかし、ティッシュ箱やクッションのような雑貨を包んで生活を華やかにする「包む」、品物を包んで贈ることにプレゼントする「贈

使い道多く便利な風呂敷

る」、撥水加工の風呂敷をレジャーシート代わりに使う「守る」という使い方は初めて知った。風呂敷は、たくさん使い道があって、とても便利なものなのだ驚いた。それに、かさばらないので、持ち運びやすく重宝されると思う。サイズも大小さまざまあるし、素材も多彩だ。絹など高級なものもあるので、目的に合わせて使い分けるのも楽しそうだ。私だったら、学校にお弁当を持っていく時に、明るい色とデザインの風呂敷に包んでみたいと思う。そして、手作りお弁当と一緒に素敵な風呂敷をクラスメートに披露したい。